

虹の素 雨上がりには好きだといって Vol.8

## 「ユウエルの箱」

桜木想香・熊手竜久馬

それは、好きと嫌いと不安と希望を

ひっくり返した青春舞台

### CAST

- ♀ 石塚 ざくろ ……3年C組、元演劇部、脚本家。文系女子。隼人のことが好き。
- ♀ 青海 真凜 ……3年A組、元演劇部、副部長。演出・照明担当。技術系女子
- ♀ 金子 スイ ……3年D組、元演劇部、役者。理系女子
- ♀ 伊澄 ゆかり ……3年A組、元演劇部、部長。演劇系女子。彼氏がいる。
- ♂ 小島遊 隼人 ……3年C組、サッカー部。
- ♀ 飛鳥 羽音 ……3年C組、サッカー部マネージャー。隼人のことが好き。
- ♀ 舞子 ひかり ……3年D組、元美術部。宇津木先生が好き。
- ♀ 玉田 琥珀 ……2年A組、現演劇部部长
- ♂ 宇津木 光太郎 ……3年D組担任、物理教師

神奈川県立横南高校。横浜市内の丘の上にある。

来年度より、県立浜北高校と合併し新設校になるため、最後の1年である。

「雨上がりには好きだといって」シリーズは、時代を2013年に設定していますが、実際の史実・時代状況とは違う箇所もあります。

# 「OPENING」

5人

演劇が好きだ。

ゆかり

「演劇が好きな理由」だから好きだ。

真凜

「演劇が好きな理由」だから好きだ。

スイ

「演劇が好きな理由」だから好きだ。

琥珀

「演劇が好きな理由」だから好きだ。

ざくろ

「演劇が好きな理由」だから好きだ。

男子

演劇部ってロミオとジュリエットやんの？

真凜

だからさあロミジュリなんかやらねえって言ってんだろが聞けよこの

バカ！

女子

演劇部なの？なんかやってよ！

ゆかり

軽率ななんかやってほどもカつくことはないよねイラッとするわ。

先生

台詞覚えられるんだからテストも頑張れよ。

スイ

何回も言ってるじゃんか世界史とセリフ覚えは違うんだって！

女子

演劇部でしょもつと大きな声出して。

琥珀

全員が役者やってるわけじゃないスタッフだって演劇部なの！

一般人たち

え！？演劇部って大会あるの？

5人

あるわ！

ざくろ

9月！

4人

横浜市地区大会！

ざくろ

10月！

4人

横浜市中央大会！

ざくろ

11月！

4人

神奈川県大会！

ざくろ

1月！

4人

南関東大会！

ざくろ

そして8月！

4人

全国高等学校演劇大会！

ざくろ

それは、

5人

好きと嫌いと不安と希望をひっくり返した青春舞台！

暗転。

「1」

秋の深まり始める10月の朝。学校の中庭。真凜が台本の推敲をしている。

ざくろ おはよー。

真凜は返事をせず考え込む。

ざくろ あれ？おーい、まりーん？おはよー。

真凜 カット。

ざくろ え？

真凜 そのセリフいる？今のおはよってセリフ本当に必要？いらなくない？

ざくろ え、そう？

真凜 だって第一声が「おはよー」から始まったらさ、それに対して相手も

「おはよー」って返すじゃん、そこから内容の無いような雑談がしばらくあって、3人目が「おっはよー！」ってとかって謎にテンション高いノリで入ってくるじゃん。でまた3人の無駄話があって、今度は4人目が意味深にテンション低めに「おはよう」って入ってきて「どうしたの？元気ないじゃん」みたいな無難な会話が始まるんだよ。

わー学生の創作脚本あるあるだね。

3

ざくろ

そんな冗長なプラットホームはいらないんだよ！いい？高校演劇の上

演時間は1時間しかないの！制限時間は60ミニッツ！3600セク

ざくろ そっか、そうだね。

ゆかりが元気よくやってくる。

ゆかり おっはよー！、おはよーマリリン！

ざくろ 二郎おはよー。

真凜 ほらーあ！

ざくろ ほんとだね。

真凜 ね、言ったでしょ。

ゆかり 何が？何の話？

ほらーこうやって後から来た人にもう一回おんなじ話なくちゃいけ  
なくなるんだよ。

ふむふむ。

ざくろ で、なにナニ何の話？

真凜 だから今ここ要らなくない？

ゆかり えー！どうして！せっかく登場してきたのに！

真凜 話が全く進んでないんだよ！

ゆかり  
真凜  
情報量すつくな。  
でもほら、おはようって言ってるから、今は朝だってことが。

ゆかり  
あとほら、名前呼んだから、私が二郎で、マリリンで、レイチェルってこともわかってるよ！

真凜  
劇部ネームで呼んでもわかんないでしょ。  
あるよねー演劇部ネームって。

ゆかり  
…そっか、わかった、じゃあ今のシーンもつかい頭からやるね。  
稽古か。

ざくろ  
おっはよー！演劇部元副部長の真凜と脚本家のざくろー！  
おはよー演劇部元部長のゆかりー！

真凜  
何だその超説明的な挨拶は。

スイがやってくる。

スイ  
おはよー。

ざくろ  
おはよー。

ゆかり  
おはよー！演劇部の元ヒラ部員のスイちゃん。

真凜  
だからいいってその説明台詞。

ゆかり  
どうしたの？元気ないじゃん。

ざくろ  
おお、真凜の言う通り。

ゆかり  
ちよつと待った。そのスイが元気ない理由ってこの先重要？

真凜  
え？さあ。

ゆかり  
この先重要かどうかなんてわかんなくない？

真凜  
いや絶対重要じゃないって。

ゆかり  
どうして元気ないの？

スイ  
あー寝不足？朝まで起きてたから。

真凜  
ほらー絶対意味ない！

スイ  
わかんないよ。もしかしたらこの先の伏線になるかも。

真凜  
寝不足が伏線になるかい。もー早く飛ばして話を先に進めようよ。

スイ  
飛ばすも何も、そんな時間を進めるみたいなことできないでしょ。タイムマシンじゃあるまいし。

ざくろ  
そうそう。それにゲームだってさ、最短ルート通っても面白くないんだよ。こつちになにがあるかなーあつちはどーかなーって回り道するから楽しいわけよ。

ゆかり  
やーなんか懐かしいね。

ざくろ  
なにが？

ゆかり  
いや昨年さ、こんな感じで真凜にダメ出しされてざくろ何回も台本書き直してたなーって。

ざくろ  
書いた！めっちゃ書き直した！

真凜  
だってざくろの本、所々台詞がシェイクスピアっぽくなるんだもん。

スイ  
「タピるべきかタピらざるべきかそれが問題だ！」

ゆかり 「ああ田中くん、あなたはどうしてもして田中くんなの」  
真凜 流石にダメでしょ。

ざくろの DS 没収してね。

ゆかり 「完本するまでポケモン禁止！」つつつてね。  
真凜 うるさいな。

ざくろ 私からゲームを奪うなんて！鬼！冷酷！どS！  
ゆかり 演劇バカ！

スイ 編集！  
ゆかり なに、編集って。

スイ え、ほら。なんてゆーか、作家さんに「書けー書けー」って。

ああ。

ゆかり 真凜あんたカリスマ編集になれるわ。

真凜 いやならないから。

ゆかり まーそれより真凜は絶対演劇やるべきだもんね。  
真凜 うんうん。

真凜 なんて。

スイ 才能あるから。

ゆかり うんうん。

真凜 えーそおろ？

ざくろ 私はあると思うよ。

ゆかり うんうん。

真凜 えー。

スイ いやだつて真凜がいなかったら全国なんか行けてないでしょ。  
ゆかり うんうん。

真凜 いやいやいや。

ざくろ 私が書いただけの本だったら地区落ちだって。  
ゆかり うんうん。

真凜 へーそう思ってたんだ。

ざくろ 楽しかったなあー。横南高校演劇部、最初で最後の全国大会。

スイ あーあ！引退する前にSFとかコメディやりたかったなあー！  
ざくろ いっけええええええええええ！

ゆかり 時かけ！あーやりたい！

ざくろ 東京の学校がタイムリープの話やっていいなーって言ってたよねえ。  
ゆかり さ。こんな感じで、このシーンにも意味があったのではないですか？

チャイムが鳴る。次のシーンの光太郎が袖からのぞいている。

ゆかり あ、ほら、次のシーンが始まる！

スイ 行こう行こう！

3人、バラバラと駆けていく。真凜、あとからゆっくり追いかける。

光太郎が出てくる。

光太郎 あつという間に放課後か……。

放課後になる。書類と機材の山の隙間で、採点をする教師。物理準備室のようだ。演劇部の発声。わずかに差し込む夕陽。扉が開き、女子生徒（ひかり）が入ってくる。教師（光太郎）、一瞬振り返り、また居直る。女子生徒は扉を開けっぱなしのまま、自分の定位置に着く。

ひかり 宇津木君、音楽かけて。

光太郎、CDデッキを再生する。80年代の音楽が流れてくる。ひかり、鞆を脇に置き、スケッチブックを広げる。物理のよくわからない器具（もしくはニュートンのリンゴ）を前にデッサンを始める。途中から口ずさむひかり。スイが入ってくる。

スイ 失礼しまーす。

光太郎 うーい。

ひかり やほ。

スイ、自分の定位置に着き、鞆を開き参考書を取り出し取り掛かる。光太郎、立ち上がり窓を半分開ける。すると、風が吹き込み、光太郎の髪を揺らす。答案が数枚吹き飛ば

光太郎 おっと。

答案用紙を拾い上げる光太郎。ひかりも立ち上がり、答案用紙を拾い上げ、光太郎に渡す。

ひかり はい。

光太郎 ありがとう。

窓の外から虫が入ってくる。スイ、立ち上がり先生に質問をする。

スイ 先生、ここなんですけど……。

光太郎 ん？どれ？

ひかり、ちよつと羨ましそうに見つめながら、  
ふと思いつき立ち上がる。

ひかり  
光太郎

先生、ここなんですけど……。  
絵の話は知らん。

ひかり、不貞腐れて戻ると、虫が自席にとまっている。  
ひかり、スケッチブックで思い切り叩く。  
しかし虫は仕留められず逃げるように飛んでいく。  
音に驚き振りかえる光太郎とスイ。

ひかり  
スイ  
ひかり  
スイ  
ひかり  
スイ

あ、虫がいたから。  
殺した？  
ううん。  
どこいった？  
わかんない。  
まあいつか。

スイと光太郎、補習に戻る。ひかりもデッサンに戻る。  
虫が再び飛んできて、光太郎の背中に付く。  
ひかり、そーつと光太郎の背後に近づき、思いつき叩く。

光太郎

痛ってえ！！！！

虫は窓の外へと逃げていく。陰っていく。

虫が飛んでいった先では、真凜がざくろの書いた台本を読んでいる。

真凜 なるほど……つまり、演劇部を引退した女の子（ざくろ）が、1年生の頃からずっと好きだった男の子に、卒業式までに告白をしたいと。

ざくろ どうかな。

真凜 いいと思、うかー！ー！ー！！ちやぶ台バーン！

ざくろ きゃー！

真凜 ダーカラ！話が長いって言うてるの！8分で半年も描くつもりか！だって、まだほとんど話したことないんだもん。

真凜 せめて今月中に告れ！好きって言え！

ざくろ いや無理だって！

真凜

いい？この作品は、ヒロインが告白するまでの話なわけでしょ？で、その間に他の演劇部員たちの進路の悩みや葛藤を描きつつ、かつそれを高校演劇の大会みたいにいるんなジャンルで展開してくわけでしょ？だったらとにかく展開早く！無駄に時間使ってるんだから！むしろ今言え今！はい「サッカーボールが転がってくる」はい！

8

真凜が台本を書き直すと、サッカーボールが転がってくる。

追って練習着姿の隼人が来る。この先、真凜とざくろはものすごく演劇的に喋る。普通に話す隼人とのミスマッチを起こす。

真凜 うちらは春夏秋冬（劇団四季）的にいくよ。はーやーと。

隼人 おう、何？

真凜 今からこの子が告白したいんだって！ちよつと聞いてやって！

隼人 は？

ざくろ ええええちよつと真凜んえええちよとおおお！？

真凜 いいか？演劇部の上演時間もサッカーの試合時間も台本の締切も年金の受給も保育園に入れる子供の数も残業手当も青春もチャンスの数も限りがあるんだ。みすみす逃してたらこの先の人生損してばかりだよ。うわあ何そのすごい脅迫みたいな。

ざくろ いつ言うの？

真凜 いや無（理）だって！

ざくろ 今でしょ。

隼人 あのさ。

ざくろ はい！

隼人 告白って、えっと、なんて言うか、そう言う告白？

ざくろ いや全然そ（んなんじゃなくって！）



真凜 そう言う告白！  
隼人 あのさ、ごめん。今部活中だから。  
真凜 そうだよねごめんね！まあすぐ終わるから！ほら！  
ざくろ ううう、あの、その……

意を決して言おうとしたその時、羽音が来る。

羽音 隼人！何してんの？ミニゲームやるってよ。  
隼人 ああわり。  
真凜 ライバル登場！いい展開！  
隼人 ごめん、部活終わった後でいい？  
ざくろ えっあつ、はい。  
隼人 じゃごめん、待ってて。

隼人、走って戻ってしまふ。

真凜 やあやあいいところに来てくれましたサッカー部マネージャーで隼人

に恋してる飛鳥羽音ちゃん。

わーすっごい説明ゼリフー。

どうしたの？

いやね、今からこいつに告らせようと思ったんだけど。

イヤイヤだからだからだから！

えー！好きなの？隼人のこと。

えっあつ、うん。

どこが好きなの？

え、うーん、どこって言うか……「隼人のいいところを言う」

わかる。

えっ。

いやめっちゃわかるそうだよね（など、もっと激しく同意する）

ちよっと待って、好きなんだよね隼人のこと。

え、うん。好きだよ。

ざくろも隼人のこと好きなんだよ。

うん今聞いたよ。

ライバルなんだよ。もっとうさあ、「隼人に近づかないで」的なバチ

バチッとしたさあ。

いや、てゆーか、私とっくの昔に振られてるから。

まって展開が早すぎてついていけない。

自分のせいじゃん。

陰っていく。

物理準備室。スイとひかりがいる。

スイ  
ひかり  
ひかりはさ、美大いけることになったんだよね。  
うん、まあ、受ければだけど。  
スイ  
大変なんですよ、現役で受かるの。  
ひかり  
うん、まあね。  
スイ  
塾とか行かないの？なんかあるんでしょう？美大専用の塾みたいなの。  
ひかり  
うーんまあ、流石にそこまでは、ね。  
スイ  
そっか。でも絵描くなら美術室でいいんじゃないの？  
ひかり  
いや、いつまでも先輩いたら悪いかなって。  
スイ  
ひかりさ、なんで、ここで描いてるの？  
ひかり  
言わない。  
スイ  
えーなんでよー。  
ひかり  
言っても信じてもらえないだろうから。  
スイ  
なに信じる信じないって。信じる信じないとかあるの？

ひかり  
先生がね、タイムマシンをつくって。  
スイ  
タイムマシン？  
ひかり  
うん。それで私、一回過去に行ったことがあって。  
スイ  
え待って待って待って待って。タイムマシン？  
ひかり  
タイムマシン。  
スイ  
タイム、マシン？  
ひかり  
タイムマシン。  
スイ  
え、その引き出しの中開けたら四次元空間？  
ひかり  
いやあの乗り物型じゃなくて。  
スイ  
え先生って実は猫型ロボットなの？  
ひかり  
違う違う違う。先生がね、タイムマシンをつくって。  
スイ  
タイムマシン？  
ひかり  
タイム、マシン？  
スイ  
タイムマシン。  
ひかり  
え、その引き出しの中開けたら四次元空間？  
ひかり  
いやあの乗り物型じゃなくて。  
スイ  
え先生って実は猫型ロボットなの？  
ひかり  
違う違う違う。先生がね、タイムマシンをつくって。  
スイ  
タイムマシン？

ひかり うん。それで私、一回過去に行ったことがあって。  
スイ え待って待って待って待って。タイムマシン？

ひかり あれ私さっきから過去に戻ってる？

スイ またまたあ。タイムマシンなんてあるわけないじゃん。

ひかり ほらやっぱり信じてくれない。

スイ 私SEとか大好きだけどさ。現実であるわけないじゃん！フィクション  
フィクション！

スイ いいなあ、美大行かせてもらえて。

ひかり でもスイちゃんも大学行くんでしょ。

スイ まあね。

ひかり なんでここで勉強してるの？塾とかいかないの？

スイ うん。ウチお金ないから。

ひかり ああ。

スイ 全国大会さー長崎だったんだけど。家族全員で観に来て。あうち妹と  
ひかり 弟2人ずついるんだけど。

スイ えじゃあ5人兄弟ってこと？

ひかり そう。それがみんな長崎来て。だってフツーに地区とか県とかで観て  
スイ なんだよ？わざわざ長崎来なくていいのにさあ。往復の飛行機とかホテル  
代とかでさあ。でもさ、最初に最後の家族旅行だって言って。みんなさ、  
お姉ちゃんのためなら欲しいものがまんするって言って。えめつちやいい子  
達じゃん。

11

ひかり いや嬉しかったよ。正直めつちや嬉しかった。泣いたよね。だから正  
直、卒業したら就職だなんて思ってたんだけど。親が大学は行けって  
きかなくて。

ひかり そうなんだ。

スイ 私もひかりみたいに行きたいところ行けたらいいのにな。

ひかり 演劇？

スイ うん。流石にね。演劇は食ってけるかわからないしね。

ひかり 美大行ってもわからないけどね。

スイ (あくびをして) ダメだ、なんか眠くなっちゃった。

ひかり 昨日遅くまで勉強してたの？

スイ うん、ちよっと寝不足だわ。伏線かいしゅう。

スイ、あくびをしながら机に突っ伏す。

## 「CM」

伊澄ゆかり一人芝居。

突然ですがCMです。

改めまして私、伊澄ゆかり！横浜の高校に通う「17歳！遡ること1年半前。2年生最初の中間テスト。

「うそっ！ニガテな数学とはいえ、人生初の平均点以下とっちゃったよ！」

「おうイズミ！何点だった？」

「ダメー見ないで！」

私が密かに想いを寄せてる陸上部の康平。せっかく同じクラスになって、席も隣になったのに・・・こんな点数見せられないよう。

クラスメイトで同じ演劇部の真凜は・・・うそっ90点超えてる。真凜は部活でも頼りにされるし、男の子にもモテるし、勉強もできて・・・はーあ、私と全然違うなあ。

「ただいまー」

「あらゆかりおかえり、なんかあんたに郵便届いてたわよ」

「郵便？何これ。勉強も部活も恋もうまくいく！レインボーゼミを始めよう？お母さん、私これ始めたい！」

「何？どーせあんた3日坊主になるんじゃないの？」

「ちゃんとやるから！お願い！」

そうして始めたレインボーゼミ！夏休み前の期末テストでは「この問題！ゼミで解いた問題と同じ！」苦手な数学でこの私が80点台！？

「イズミ、お前頭いいんだな」

やった、康平に褒められちゃった！

そしてやってきた夏休み！康平にLINEしたくても、送る内容が無いよう。康平にお願いしたいよう。あいたいなんて送れないよう。どうしたらいいか教えて相棒。花火誘えって？それ採用！勇気を出すのが第一歩。ノリと勢いにride on!、すぐに震えるアイフオーン。返事はハイヨー！シンプルな回答！嬉しい最高！叫んじやうヒヤッホウ！待ち合わせ場所は渋谷ハチ公。じゃなくて桜木町。てゆーか来てく服どうしよう！メイクで顔を改造。ちなみに買ったのはダイソー。あ！このシユシユ浴衣に合いそう。え？明日は雨？come on 太陽！

韻をふむのにつかれて tomorrow

私は向日葵柄の浴衣。ちよっと子供っぽいかな、待ち合わせの10分前。

「ごめん遅くなった、待った？」

「ううん、今来たところ。」

嘘でーすホントは1時間前に来てましたー！……………！

めっちゃ待ってたー！……………！

「なんか……かわいいじゃん」  
「ありがと……」

「じゃあ、行こっか」

「あつ待って（浴衣の袖をつかむ）」

「あのね……ずっと好きでした！付き合ってください！」

あああああ……言っちゃった！言っちゃったよ……！！  
てゆーか私何考えてんの！バカなの何先走ってんの！まだ花火始まるまで2時間あるのに何もう告白しちやってんのもし振られたらどうすんのこれ？気まづい空気で花火見るの？それとも帰んの？えー待って待って待って待って待って待って待って待って待って……！！！！ここ駅……！！！！あ……その大学生カップル！微笑ましい目で見ろな！その男子グループ！リア充しねみたいな目で見んな！あ……その私より可愛い女の子！こっち見んなあ！康平の視界に入るなあ私が霞む！！てゆーかあの顔で告白？とかそんな目で見んな……！！みんな……こっち見んなあああああ……！！この間わずか3秒！

「俺も好きです」

ハア……ン！

「よ、よろしくお願いします。」

ヨ……路……し……9……！！

花火ど……ん……！！！！パチパチパチパチ！

周りの人たち拍手パチパチパチパチ！ヒューヒュー！

ありがと……！！ありがと……！！あーリーガートオおおおおお！

そんなこんなで。部活でもなんと部長を任されることになって、あれよあれよのうち  
に全国大会まで行っちゃいました！将来の夢は女優になること！もっともっと演劇を  
勉強するため、芸大のAO入試を受けました！

康平とも喧嘩したり、仲直りしたりしながら、今日で1年と2ヶ月記念日。

全てはレインボーゼミを始めたおかげ！あなたもレインボーゼミを始めて、素敵な高  
校生活を手に入れよう！以上！CMでした！

先生が戻ってくると、スイとひかりが寝ている。

光太郎 何寝てんだ2人とも。

2人、バインダーで軽く叩かれ起こされる。

スイ 痛いなー宇津木くん何すんのー。

光太郎 ?

ひかり しよーがないじゃん昨日徹夜で勉強して寝不足なんだよ。

光太郎 ……?あんまり根詰めすぎるなよ。ところで。この前の校内模試の結

果。(取り出して見せて) 出たぞ。

ひかり わお！ありがとうございます！

スイ ありがとうございます。

光太郎 見るだけな。明日教室で皆に返すから。先に見たこと言うなよ。

ひかり はいえよっやあ先生見て！東大〇判定行った！

スイ えっ、スイちゃん東大行くの？

ひかり えっうんまあ。

スイ えーすごい！なんで東大？

ひかり やればできるって知っちゃったから。

スイ やればできる？

ひかり 全国まで行ったからさ。やればできるじゃんって。私なりに必死に頑

張ったからさ。だから、勉強もやればできるって、信じてみたいな。

スイ かつこいいね。

ひかり まあ本音は？どうせ大学行くならいいところ行って、いいところ就職して、

稼いで、少しでも恩返ししたい。

スイ めちゃくちゃかつこいいね。

ひかり へいへいやめろやい。

光太郎、プリントを落とすと、スイが拾う。

スイ はい。

プリントを受け取る光太郎。

光太郎

2人

ああ、ありがとう。お前らも喋ってないで手を動かさせよ。

はい。

勉強を始めるひかり、絵を描き始めるスイ。

ひかり  
先生、ここなんですけど。  
光太郎  
ん、どれ。

スイ  
宇津木くん、音楽かけて。

光太郎、CDを入れ替える。スイとひかり、ようやく気がつく。

2人  
あれ、私たち、もしかして、入れ替わってる？

光太郎、音楽をかける。陰っていく。

帰り道。ざくろと隼人が歩いている。

隼人

ごめんな、みんな、うっさくて。

ざくろ

いえいえ、そんな、むしろ、すいません。

隼人

いや、こっちがごめん。

ざくろ

でも、というか、いいんですか？

隼人

なにが？

ざくろ

いや、その、私なんか時間使って……。

隼人

やだって、俺が待ってて言ったから待ってたんだろ？

ざくろ

そうだけど。でも今、大会中？なんでしょ？

隼人

まあ。

ざくろ

最後の大会だから、集中させてやってって、マネージャー、羽音ちゃ

隼人

んに言われたから。

ざくろ

あいつそんなこと言ったのか。勝手なこと言って。

隼人

いやでも、わかるよ。私だって、本番前は集中したいし。

ざくろ

全国、行ったんだよな、演劇部。

隼人

うん。まあ。一応。

ざくろ

すげえな。

隼人

いやいや、全然。なんていうか、勝ち負けとかじゃなくて、審査員の

ざくろ

好みな部分もあるから……。

隼人

え、なにそれ。好き嫌いでってこと。そんなんで決まるの？

ざくろ

いやいや、まあある程度の基準はあるけど。基礎がしっかりしてるか

隼人

とかさ。ドラクエシリーズだったら5だし、FFだったら7だし、ゼル

ざくろ

伝なら風のタクトだしマリオはストーリーだし、テイルズだったらエ

隼人

クシリア2だけど、でももうそこはもう、比べようがないって言うか。

ざくろ

あーあーあーなるほど？んー、まあ確かにメッシかロナウドかって言

隼人

われたらあととはもう好みとしか言いようがないか。

ざくろ

んー？んー？うん、まあ、そんな感じ？

隼人

でもすげえよ。全国大会の記録に横南高校の名前を遺したんだ。

ざくろ

ありがとう。

隼人

俺らも絶対全国いくぞー！

ざくろ

翼くんの為にもね。

隼人

翼？

ざくろ

あれ、翼君でサッカー部だったよね、ほら、羽音ちゃんと双子で、選

隼人

手とマネージャーとで。

ざくろ

いや、憶えててくれてるんだなって。

隼人

そりゃ、同じクラスだったもん！お通夜も行ったし。

ざくろ

でも半年経ってみんな忘れてるっばいけど。



ざくろ そんなことないよ。みんな言われたら思い出すよ。  
隼人 その程度だよ。  
ざくろ その程度じゃダメ？

隼人 いや。

ざくろ 私ね、いつか書いてみたいって思ったり、する。  
隼人 書いてって、翼のこと？

ざくろ うん。翼くんのもってわけじゃないけど、クラスメイトが亡くなる話。  
隼人 どうして。

ざくろ うーん、だって、そういう経験、みんながみんなできるわけじゃないから。私は翼くんに、まあ、私なりに感じたことはあるし、クラスの感じとか、それこそ、小鳥遊くんみたいに、もっと身近にいた人たちの気持ちとか、そういうの、なんか、作品にできないかなって、思う。そっか。

隼人 でもまだ全然、何をどう書いたらいいのか、整理つかないんだけど。  
ざくろ ふーん。

ざくろ きつと行けるよ。全国。

隼人 なんで。

ざくろ 心がひとつのチームは、強いよ。  
隼人 そっか。

隼人 で。

ざくろ ん？

隼人 告白しねーの？

ざくろ えっ！

ざくろ 告白するべきかしないべきかそれが問題だ。どちらが可愛らしい態度だろう。好きって言うために一緒に帰っているのに好きって言わないのは相手に悪いのかもしれないし、かと言って好きと伝えたところで両想いの可能性なんて皆無に等しい。

隼人 ごめん。こういうの俺から言うべきじゃないか。

ざくろ ううん！全然！うん、する。……するね。

ざくろ あのさ、その、あ、あ、試合、見に行ってもいい？

隼人 別にいいけど。

ざくろ 本当に！？

隼人 お、おう。

ざくろ

いつ？

隼人

えと、3回戦が20日。勝てば26に準々決勝。

ざくろ

そしたら20日は中央大会だから、26日に行く。

隼人

まだ大会あんの？

ざくろ

後輩たちのね。まあでも来週の地区大会勝ち上がんなきゃなんだけど。

隼人

勝てそうなの？

ざくろ

わかんない。勝ってほしいけど。

隼人

そりゃあな。

ざくろ

たっ、か、なし君……、さ、サッカー部は3回戦勝つ？

隼人

てゆーか全部勝つ。

ざくろ

そっか！そうじゃん！

隼人

ラーメン、食ってく？

ざくろ

ごめん、うちにご飯、あるから。

隼人

そっか。

ざくろ

あー……だめだ！好きって言えない！

隼人

は？

ざくろ

ごめんね！また！だめだ今日は！また今度！ちゃんと告白するから！

隼人

お、おう……。

ざくろ

今日はありがとうね！一緒に帰れて嬉しかった！部活頑張ってるね！

隼人

今日はありがとうね！一緒に帰れて嬉しかった！部活頑張ってるね！

ざくろ

今日はありがとうね！一緒に帰れて嬉しかった！部活頑張ってるね！

隼人

今日はありがとうね！一緒に帰れて嬉しかった！部活頑張ってるね！

ざくろ

今日はありがとうね！一緒に帰れて嬉しかった！部活頑張ってるね！

隼人

ははは、

ざくろ

笑いながら歩いていく隼人。陰っていく。

演劇部の部室。2年生部長の琥珀と、ゆかりとスイが整理をしている。大声を上げて笑うスイとゆかり。

琥珀

笑い事じゃないですよ！

スイ

ごめんごめんて！いやあキツツ！加九ちゃんきつつ！

ゆかり

それできよーちゃん泣いちゃったわけね。

琥珀

もう散々だったんですよ。

スイ

つつてもねーぶっちゃけ私たちとしては？

ゆかり

想定内だね。

琥珀

そうなんですか？

スイ

まあそりゃあねえ、加九ちゃんが本書いて演出したらねえ。

ゆかり

だからー私たちのにはー権力が集中しないようにって。

琥珀

それで私が部長なんですか？

ゆかり

良いと思ったんだよ？ほらーテンコは雰囲気明るくしてくれるけどや

っぱ大事なところ任せるってなると不安だし、深幸はもう、「自分」って感じだし。

スイ

あそーだ。深幸タバコ吸ってたってマジ？

琥珀

ちよつとそれホントに絶対誰にも言わないでくださいよ。

ゆかり

えーすごい！そこまでしてんだ！

琥珀

いやいくら役作りだって言ってもタバコ吸っちゃダメですよ。先生に

バレたらどうなると思ってるんですか。

スイ

やっぱ停学とかなるのかな。

琥珀

大会も出場停止ですよ。

ゆかり

でも文化祭で見た時すごい上手いなって思ったよタバコの演技。

スイ

ねーああいうのの所作でさ、ちゃんとなってるなと冷めるんだよね。

琥珀

それよりも加九なんですよ。

スイ

大丈夫だって！加九ちゃんは辞めないよ部活。超演劇大好きじゃん。

琥珀

でもー。

スイ

あるってそういうこと。うちの代も裏では真つ二つだったし。

琥珀

え！？そうなんですか？

スイ

派閥派閥。ゆかり派と真凜派？

琥珀

えー全然知らなかったです。

ゆかり

ほら私結構テキストじゃん？でも真凜が結構やる感じだったから。

琥珀

あー青ちゃん先輩結構言いますよね。

ゆかり

まあ演出だからってのもあるけどね。

スイ

こいつ新歓終わってしばらく部活来ないこと多かったじゃん。来ても

ゆかり

なんかう上の空でさ。

あーそれは言わないでいいじゃん！

スイ  
あれ原因彼氏と喧嘩しただけなんだよ。それでショックで部活に身が入らなくなってるの。  
はいまあ知ってます。

琥珀  
えーウソ！

もうなんか、察し？

スイ  
だよね。

琥珀  
すいません。

スイ  
まー終わったことだからいいんだけどさ。あの頃真凜マジでブチギレてたよね。

琥珀  
すいません。

スイ  
私はいいんだって。まー流石にしっかりしろよとは思ってたけど。でも真凜のそれはまた違うから。

琥珀  
あーでも確かに、青ちゃん先輩ゆかり先輩には特にキツかったような。えーそう？

ゆかり  
ゆかりにダメ出しするときだけ目が違ったよ。

スイ  
いや私はいいんだよ全然。平気だし。言われてもクソってなるから。

でもほら、そうじゃない人もいるわけじゃん。だから私は、もつとみんなが楽しくできればいいと思ったわけ。

スイ  
でもそれはぶっちゃけ真凜が変えなきゃいけないことだったと思う。

琥珀  
真凜といえばさ、俊平真凜のこと好きだったの知ってる？

スイ  
えー！ー！そうなんですか！

琥珀  
そうそう俊平！

スイ  
でも真凜はあんな感じだったからさあ、全然ね。

琥珀  
あいつ基本こっちなんだけどさ、でも真凜はあつちだから、ロミジュリのなね。

ゆかり  
あーでも俊平のおかげかもね。うちらが完全にこう（分裂）ならなかったのって。

スイ  
確かに。俊平いなかったらどうなってたんだろうね。

ゆかり  
架け橋的なね。なんだかんださ、男子だし頼らざるを得ない部分あったしね。

スイ  
なんだかんだいい奴だったよな。

ゆかり  
いい奴だった。

スイ  
いっつもさ、みんなに配ってたよね。飴。

琥珀  
SAKUMA ドロップスでしょ。

スイ  
あれさー私なぜかいつつもハツカばかり出てさ！

ゆかり  
えーいいじゃん私ハツカ好きだよ。

スイ  
いやまあ別に私も嫌いじゃないけど。

ゆかり  
あ、そんなこと言ったら SAKUMA ドロップス来てきた。

スイ  
えーそれ俊平の置き忘れてたこと？！のだよ。

ゆかり  
スイ  
ゆかり  
スイ  
んーとね、あでも賞味期限まだ来年だよ。食べる？  
えー食えるかな。  
(振ってみる)あでもほら、溶けてない。  
じゃあ一個もらおう。

ゆかり、スイの手にドロップスを出す。そのあと自分の手にも。

スイ  
ゆかり  
スイ  
ゆかり  
ほらハツカ！やつぱりハツカ！  
私オレンジ！  
換えて。  
ハイハイ。琥珀もいる？

2人が振り返ると、琥珀がうずくまって泣いている。

スイ  
琥珀  
ゆかり  
スイ  
ゆかり  
スイ  
ちよつと、どうした琥珀！なに泣いてんの？  
もう無理……やだ……本番できない……！  
できるよー大丈夫。大丈夫大丈夫。  
頑張れ頑張れ。  
頑張ってる頑張ってる。  
大丈夫だよ大丈夫。

訳も分からずいっぱいになった心をこぼす後輩を、先輩は優しく撫でる。  
陰っていく。

ざくろ

そうしてやってきた地区大会。横南高校は優秀賞と創作脚本賞を受賞して、惜しくも中央大会進出を逃したのです。

ゆかりスイ

いやいやいやいや展開早すぎるでしょ。(真凜に) ねえ！  
(台本を読みながら) いいんじゃない？ 展開早くて。

真凜

後輩の地区大会の帰り。感想を言いながら帰っている。

スイ

やーマジ納得できない。絶対うちの方が良かったでしょ。

ゆかり

加九ちゃんの顔見た？

真凜

観た。目がね、もう人殺しの目してた。

スイ

まじで！？

ざくろ

やっぱりアイリの本、おもしろかったのにな。

真凜

うん、よく練られてたよね。しっかりしてた。

スイ

審査結果ほんと納得いかない。

真凜

私たちもそういう負け犬の遠吠え言われながら上の大会いったんだよ。

審査発表。審査員と隼人が現れる、羽音とひかりが他校の生徒として現れる。

審査員

それでは発表します。最優秀賞は……

隼人

僕の好きな人は……

審査員

県立横南高校！

演劇部たち

わーーーーー！！！！

隼人

(演劇部たちの声で好きな人が聞こえない)

ひかり・羽音

結局審査員の好みってことですよ。

これらはざくろの脳内イメージ。消えていく。

ざくろ

悔しいなー。

ゆかり

悔しい？

ざくろ

いやーだって、私のよりアイリの本の方が良かったと思うもん。

真凜

ざくろの本も良かったよ。

ざくろ

めっちゃ書き直したなあ。原型ほとんどどめてないよね。

スイ

確かに。

ざくろ

しんどかったあー！

真凜

しんどかったあー！

スイ

って言いながらみんな演劇続けるんですよ。いいよねえ。

ざくろ

うん……。

スイ あーあーいーな！私も演劇やりたーい！  
真凜 あのさ、その話なんだけどさ。  
ざくろ なに？

ゆかりに合格通知が来る。

ゆかり 受かった！  
真凜 え、受かったって？  
ゆかり 合格通知！来た！  
スイ え、AOc。  
ゆかり AOc。  
ざくろ 大阪の？  
ゆかり 大阪の！  
真凜 芸大？  
ゆかり そう芸大！合格した！  
3人 えーすーいーい！おめでとー！（など）  
ゆかり ありがとう！やったあ〜〜！！！！

ゆかりは駆け出して行ってしまう。

ゆかり たくさんのライト 未来照らす光

目が眩みそう だけど決めたの

私の輝ける場所 叶えてみせる

私に迷いなんてない

扉は開いて 道は続いている

嬉しすぎて空も飛べるわ 迷いなんてない

走っていくゆかり。

その後方、歩いている3人。分かれ道に差し掛かる。

スイ じゃ、私こっち行くから。  
ざくろ え、駅行かないの？  
スイ うん。歩いて帰る。  
真凜 まじで？電車乗らないの？  
スイ そんな金ねーよ！節約節約。  
ざくろ どーする？私たちも歩く？  
スイ いいっていいって。2人はそっちに行きな！  
ざくろ んーじゃあ、またね。  
スイ またねー！バイバーイ！

行ってしまうざくろと真凜。見送るスイ。  
ちようど着物屋さんの前、シヨウウインドウの振袖を見つけ。

スイ

私に選択なんてない

私は着れない 20歳の振り袖

妹たちには我慢させない 選択なんてない

スイ、走っていく。  
歩いている真凜とざくろ。

真凜

私さ、就職するんだ。

ざくろ

えっ。

ざくろ

進学しないの？就職？

真凜

うん。

ざくろ

どこに？

真凜

小田原。の、旅館？仲居みたいな。

ざくろ

なんで、急に、就職？芝居辞めるの？

真凜

どうだろね。わかんない。

ざくろ

わかんない。

真凜

私に自信なんてない

演劇は好き だけど勝てない

ゆかりほど本気？って胸を張れない 自信なんてない

ざくろ

もったいないよ。辞めちゃうなんて。

真凜

でもそれを決めるのは私だから。

ざくろ

相談してくれても良かったのに。

真凜

そうかもね。

ざくろ

そうだよ。

真凜

ざくろは台本書くんでしょ。

ざくろ

書きたいけど。

真凜

芝居しなよ。

ざくろ

どうしたらいいかわかんない。

真凜

わかんない。

ざくろ

私に地図なんてない

抜け出せはしない深いダンジョンの中

みんな夢があつてうらやましい 地図なんてない

真凜

ま、それもまた一つの道じゃない？



ざくろ

どうして？

真凜

というか、大半の人は、猶予が欲しくて大学に行くようなもんじゃん。

ざくろ

えーそおう？

真凜

いいんだって。悩みたきや悩めば。無理して決める必要ないよ。まあもちろんタイムリミットはあるだろうけど。

ざくろ

全然未来が見えない。

真凜

私だって未来なんか見えないよ。

ゆかり

自由に飛んでいける

真凜・ざくろ

まぶしくて見えない

ゆかり

魔法にかけられたみたい

スイ

12時の魔法は とっくに解けたの

真凜・ざくろ

あんな風に (ざくろ) になりたい

(真凜) なれない

スイ

シンデレラには なれなかったの

ゆかり

どんな役にも なれるの

4人

私の物語 まだ始まったばかり

ハッピーエンドに向かって 今がきつと 動きだすとき

ゆかりざくろ

また舞台の上に (ゆかり) 立つのよ

(ざくろ) 立ちたい

スイ・真凜

もう舞台の上に (真凜) 立たない

(スイ) 立たない

4人

本当にこれでもいいのか 答えはわからないけど

いつか開く 宝石箱を 信じているんだ

緞帳が下りていく。

4人

いや待って待ってまだ終わらないまだあるまだある続く続く！！

劇場さん

危ないから緞帳から離れろ！

4人

はい！すいません！

緞帳が上がっていく。

4人

はー危なかったやれやれ……。暗転。

暗転。暗転中、「恐かったねー」「あんな怒鳴んなくてもいいじゃんね」

「いやうちらが悪いよ」「すみませんでした」など言いながらはけていく。

部室。羽音が参考書を見ている。隼人がくる。

羽音 お疲れ。あがり？

隼人 ああ。

羽音 じゃあライト落としてくるね。

隼人 落としたよ。

羽音 あほんと。

隼人 だから別に待ってなくたっていいって。帰って勉強しろよ。

羽音 なんかさ、部室が一番集中できるんだよね。

隼人 こんな汗臭い部屋が？

隼人、着替えながら。羽音は背中を向けて。

羽音 慣れちゃったよ。

隼人 大学行くの？

羽音 うん。

隼人 そっか。

羽音 このチームで居られるのも、あと少しだね。

隼人 だから1日でも長くいるために、絶対勝つんだよ。

羽音 次の試合さ、

隼人 ああ。

羽音 負けたら、デートしてよ。

隼人 は？

羽音 負けたら、デートしてよ。

隼人 そういうのって、勝ったらじゃねーの？

羽音 勝ったらその次も試合でしょ。

隼人 ああ。

羽音 負けたら、その次の試合の日、暇でしょ。

隼人 暇じゃねーよ。絶対勝つから。

羽音 わかってるよ。

隼人 は？

羽音 勝って言ってんの。

隼人 回りくどい言い方すんなよ。

羽音 勝って。

羽音 デートには連れてけねえけど、国立には連れてってやるよ。  
うん。

部室から出ていく2人。  
試合当日。ざくろと、付き添いの3人がいる。

ざくろ

そうしてやってきたサッカー部の大会。神奈川県予選準々決勝。……。

3人

どうした？

ざくろ

サッカーの試合のシーンでどうやって舞台上でやったらいいかな？

スイ

うーん。

ゆかり

難しいね……。

ざくろ

どうしたらいいかなあ真凜。

スイ

助けて真凜。

ゆかり

すごいアイデアを思いついて真凜。

3人、真凜にすぎる。真凜、考えて、閃いたように！

真凜

照明サン！サスください！

サスがつく。真凜には当たっていない。

真凜

いやそこじゃねえよここだよ！（自分を照らせと主張する）

照明

そこサスありませーん。

真凜

……。

真凜 サスに入り、

真凜

横南高校サッカー部は、負けた！

3人

いやいやいやいや！

隼人

そうか……俺、負けたのか。

3人

いやいや待ってちよっと待って待って！展開早すぎ！

ざくろ

もっとうさあく試合にこそ熱い展開があるじゃん！

スイ

そうだよここはもっと少年誌的にいこうよ！

真凜

今日は日曜日！

3人

サンデー！

真凜

サッカー部の大会！目指せ優勝！

3人

チャンピオン！

真凜

（飛び跳ねる）

3人

……？

ざくろ

あっジャンプ。

ゆかり・スイ

あー。

真凜

友情！

3人

「ボールはトモダチ！」  
努力！

3人

「自分を信じない奴なんか努力する価値はない！」  
勝利！

3人

できなかつた！  
そうか……俺、負けたのか。

3人

いやいやいやいや！  
てゆーか講談社は？

真凜

じゃーもうざくろが書けばいいでしょ！  
えええ。

真凜

書けー書けー！  
編集……。

ざくろ

試合は0対0のまま後半へ。ほどなくして雨が降りだした。濡れたピッチにディフェンダーが足を取られて、失点（ホイッスル音）

羽音・隼人

ドンマイドンマイ！切りかえ切りかえ！まだある、まだあるよ！

ざくろ

2人の声が特別大きく響いて聞こえた。ああ、みんな本当にサッカーが好きなんだ。サッカーが楽しいんだ。こんなに本気に、こんなに真剣に自分の好きなものに向き合って、羨ましい、私もそうしたい！

羽音

いけー！がんばれー！

スイ

ほらざくろも！

ざくろ

えええ私は！

ゆかり

(ざくろに) いけー！がんばれー！

真凜・スイ

(ざくろに) いけー！がんばれー！

3人

(ざくろに) いけー！がんばれー！

ざくろ

ううう……いけー！がんばれー！

羽音・ざくろ

隼人ー！いけー！がんばれー！！！！

ざくろ

サッカーって少し、お芝居に似てるなって思った。失点しないようにゴールを守る人、ボールを受けて繋ぐ人。目と目を合わせて、心を合わせて、ボールが繋がる。みんなはチームで、それぞれ役割があつて、そしてゴールを決める人までボールが繋がる。みんながここまで繋いでくれたボール。私の人生よりはるかに重い！

羽音

隼人行け打て！

ざくろ

いつけええええええー！！（時かけ風に）

真凜

しかし隼人はシュートを外し、横南高校サッカー部は、負けた！

スイ

ちよつとナニソレ！

ゆかり

めっちゃいいとこだったじゃん！

真凜

時間がないから割！愛！

スイ・ゆかり

えー！えー！えー！えー！

真凜

はい！諦めたので試合終了！次行くから帰った帰った！

3人、真凜に押し出されていなくなる。

隼人

そうか……俺、負けたのか。

悔しさにうなだれる隼人。

羽音、躊躇って、躊躇って、隼人の頭に手を置き、抱き寄せる。

隼人

どこ行きたい？

羽音

(首を横に振る)

隼人

約束だろ。

羽音

どこにも行かない。

隼人

何でだよお前が言ったんだろ。

羽音

国立競技場。

隼人

だからもう連れてけねえって。

羽音

行こうよ。元旦。国立競技場。みんなで。

隼人

みんなで。

羽音

みんなで観に行こう！

隼人

みんなで、な。

羽音

ほら！……早くいきな。

隼人

サンキュ、マネージャー。

隼人、行ってしまう。風が吹く。

真凜がきて、ハンカチを差し出す。

羽音

真凜。

真凜

ごめんねーイケメンじゃなくて。

羽音、ハンカチを受け取らない。

真凜

ほら。

羽音

大丈夫。

真凜

大丈夫って。

真凜

羨ましいな。

羽音

何が？

真凜

恋？

羽音

これが？こんなだよ。

真凜

私やっぱさ、頭で考えちゃうんだろうね。だからなんていうか、身動

羽音

き重いんだろうな。

でもちゃんと冷静に考えられるところが、真凜のいいところでしょう。

真凜

そう？

羽音

そうだよ。

真凜

私もいつかできんのかなあ。恋。

羽音

そりやできるよ。

真凜

できんのかなあ。

羽音

焦ることないよ。いつかきつと、どうしようもなく、好きで好きで好きで好きでたまらなくなる時がくるよ。

真凜

うんっ。——そうだね。

真凜と羽音、歩いていく。

ざくろと隼人がいる。傘をさしている。

ざくろ

ざ、残念だったね。

隼人

実力だよ。

ざくろ

たっ、か、なし君……は、サッカー続けるの？

隼人

ああ。俺、オランダいく。

ざくろ

オランダ？

隼人

このまま大学行つて続けても、ダメな気がしてさ。本当にサッカー続

けていきたいから、どうにかしなきゃって思つて。オランダに伝手が

あるからさ。本当はドイツとかスペインとか、ブラジルとかあるんだ

ろうけど。

ざくろ

すごいね。

ざくろ

ああ、小鳥遊くん、あなたは どうして小鳥遊くんなの？

隼人

お前は？

ざくろ

私は……私は。

雨が上がる。

雨が上がる。

隼人 雨、上がったな。

全員 雨上がりなんて美しいものじゃない。

ゆかり そっか、加九ちゃん部活辞めんだ。

琥珀 やっぱ私がダメだったんです。

全員 雲はかかったままで、青空なんて見えない。

ゆかり 遅かれ早かれ別れは来るよ。みんな別々の道に行くんだから。加九ち

全員 やんはそれがちよっと早かっただけ。

ゆかり 虹がかかるなんて奇跡に等しい。

全員 康平。私やっぱり、大阪いくよ。うん、だから卒業したら、一緒には  
いられないね。

全員 ただ雨が上がっただけ。降り続いていた雨が止んで、これからやがて  
雲が切れて、青空が広がるだろうって予感がするだけ。

ゆかり あの雲はどこへいくのだろう。

全員 ゆらゆらゆらり、形をゆっくり変えながら。二度と元には戻れなくとも、  
私は私でいれるだろうか。

ゆかり それとも私もあの雲のように、風に飛ばされてしまうだろうか。

風が吹く。

羽音 風が吹いた。

全員 風は、私たちの心の中を吹き抜けていく。時に激しく、時に優しく、  
爽やかに、そして情熱的に。

スイ いつどつちを向いていたって、風に吹かれて生きている。

ひかり 北風に心を痛め、

ざくろ 南風に想いを乗せ、

ゆかり 追い風を背中を押され、

光太郎 向かい風を受け止めて、

琥珀 春風にくしゃみをし、

隼人 秋風に髪をなびかせ、

真凛 突風に煽られ、

羽音 そよ風に涙を乾かす。

全員 あの風はどこへいくのだろう。

真凛 さらにさらに、高いところから低いところへ。吹けば後には引き返せ

真凛 ぬなら、せめて私は風になりたい。

今はこのことばかりだけど、いつか誰かのために生きたい。

真凛

太陽が出る。

光太郎 陽が出てきたな。

ひかり 夕焼けキレイ。

全員 太陽は全てを照らしてくれる。

スイ ねえひかり。私のこと、描いてよ。

全員 世界を等しくオレンジに浸して。

スイ 描いてほしいんだ。私のことを。

ひかり わかった。

全員 私たちを覆っていた雲さえもきれいに染めて。

光太郎 どーせならその壁に書けよ。

ひかり いいんですか？

全員 人類が見惚れてきたその景色を、刻一刻と移り行く瞬間の美しさを、

スイ 今日太陽は与えてくれる。

スイ あの夕陽はどこへいくのだろう。

全員 さらにさらに、私たちが今過ごした日々も、振り返ったら輝いて、

スイ まぶしくて見れなくなるのだろうか。

スイ それとも私があのように、輝ける存在になれるだろうか。

虹が架かる。

ぎくろ 虹だ。

全員 虹だ。

全員 私たちはどこへいくのだろう。欲求、願望、努力、障害、理由、葛藤、

挫折、達成。色とりどりのドロップスの様に一粒一粒取り出して、一

喜一憂するんじゃないなくて、あの虹の様に一つにまとめて、渡っていけ

たらいいのだろうか。

陰っていく。

ぎくろ

結局私は、雨上がりにも好きだと言えないままだった。卒業まであと少ししかないということも、卒業した後は小鳥遊くんは遠くに行ってしまうということも、わかっているのに、わかっているのに、私は、私は、



電話のバイブ音。

ざくろ

夜、電話が鳴った。小鳥遊くんからだった。胸が高鳴った。でも何故だろう、すごく嫌な予感がした。

ゆっくりと電話に出る。

ざくろ

「もしもし、俺」

「小鳥遊くん？どうしたの」

「ちよっと、事故った」

ざくろ

予感 は 現実 に 変 わ っ た 。 あ っ と 一 瞬 間 に 血 の 気 が 引 い て 、 次 の 瞬 間 に は 、 引 い た 血 液 を 飲 み 込 ん で よ り 大 き な 熱 い も の が 一 気 に 押 し 寄 せ て 来 た 。 私 は す ぐ に 家 を 飛 び 出 し て 病 院 に 向 か っ た 。 た だ で さ え 暗 い 夜 道 が 、 不 安 と 恐 怖 で ま す ま す 真 っ 黒 に 思 え た 。 私 は 今 ど こ を 走 っ て い る の だ ろ う 。 錯 乱 の あ ま り 頭 が 正 常 に 働 い て な い 。 ま る で 私 の 未 来 み た い だ 。 真 っ 暗 で 何 も 見 え な く て た だ 不 安 と 恐 怖 に 押 し つ ぶ さ れ そ う な り な が ら そ れ で も 懸 命 に 前 に 向 か っ て 走 り 続 け る し か な い 。 失 い た く な い 。 失 い た く な い と 思 う か ら 。

ざくろの脳内の羽音が叫んでいる。

羽音

隼人おゝ隼人オゝ！しつかりして！隼人ゝ！ごめんねえ好きだよゝ！ごめんねええ！翼あゝお願い！隼人を連れてかないで！翼あああ！隼人おお翼ああお願いいいい！

ざくろ

本当に好きなんだな。私には勝てない。ああ、どうか、小鳥遊くん。無事でいてください。ああそっか、小鳥遊くんや羽音ちゃんは知ってるんだ。失ってからでは遅いと言うことを。だからあんなに一生懸命に、まっすぐに生きてたんじゃないか。私はどうだ。ただまだ期限があると思っただけをこねくり回してただけだったじゃないか。ああ、私、今、ヒロインみたい。映画とかドラマとか、物語の終盤で走りがち！だってそれには法則があつて、その方がなんかエモくてドラマチックに見えるから！そして走っていると大体転びがち！

ざくろ、転ぶ。

羽音・隼人

ドンマイドンマイ！まだある！まだあるよ！！

ざくろ

ああもうこんなことしてる暇があったら早く立って走れ私！

しかし、痛くて立ち上がれない。

ゆかり

いけー！頑張れー！

演劇部3人

いけー！頑張れー！

ざくろ

ううううううううううう。

全員

いけー！頑張れー！~~~~~！！

なんとか立ち上がって歩き出すざくろ。光太郎が、車で通りかかる。

光太郎

石塚？石塚ざくろ？どうした？大丈夫か？

ざくろ

宇津木先生……お願いします。病院まで乗せてください。

光太郎

おお、わかった、ほら乗れ。

ざくろ、車に乗り込む。走り出す車。ざくろ、祈るように手を握る。

光太郎

……大丈夫か？

ざくろ

ゲームにあるじゃないですか、ストーリーを進めてしまおうと二度とい

光太郎

けなくなっちゃう場所とか、取れなくなっちゃうアイテムとか。

ざくろ

ん？ああ。

光太郎

後悔してからじゃ遅いんですよ。人生は、後戻りできないから。

光太郎

そうだな。タイムマシンが、あるわけじゃないしな。

ざくろ

どうして人間で、こんなに選択コマンド多いんですか？私もう、「ただ

光太郎

かう」か「にげる」だけでいいのに。

ざくろ

もし本当にその2つしかなかったら、石塚はどっちを選ぶんだ？

光太郎

……ダメじゃん。どっちも選べないじゃん。

ざくろ

迷ったら、勇気が必要な方を選べ。

光太郎

勇気が必要な方？

光太郎

勇気が必要な方が簡単だよ。だからこそ、勇気を出して選ぶ方がいい

ざくろ

いだろ。そしたらもし、失敗したとしても、勇気を出した自分はやっ

光太郎

んと残る。

ざくろ

そうですね。

光太郎

うちのクラスの金子が言ってたぞ。

ざくろ

スイが？なんて？

光太郎

全国に行って、やればできるって知った。だから勉強も、やればでき

ざくろ

るって信じたって。それは、石塚も同じじゃないのか。

ざくろ

同じです。

車は病院の前に着く。

光太郎 ついたぞ。  
ざくろ ありがとうございます。  
光太郎 大丈夫か？  
ざくろ はい。一人で行けます。  
光太郎 そうか、気をつけてな。  
ざくろ はい。ありがとうございます。

光太郎、行ってしまおう。

ざくろ 人生にも、RPGみたいな、その時は開けることのできない宝箱みたいなものがあるんだろう。ストーリーを進めて、新しく手に入れた鍵とかを使って、ようやく開けることができるようになる。いつか大人になって、今の私が開けることのできないこの宝箱を、開ける日が来るのを、私は楽しみにしようと思う。

病室。隼人がベットに、その脇に羽音が座っている。ざくろが入ってくる。

隼人 よ。  
ざくろ よ、じゃないよ。

ざくろ、その場で泣き崩れる。

羽音 あーあ、泣かせた。  
隼人 俺？  
羽音 他に誰がいるのさ。  
隼人 俺、よ。って言ったただけだぞ。

隼人 そもそも、本当は事故に遭う予定なんてなかったんだよ。  
羽音 リアリティないもんね。  
隼人 でもさ、ほんと、あるんだよな。こういうこと。  
羽音 起こるんだよね。ある日突然。  
隼人 だからジジババは早く免許を返納しろってんだよな。

羽音 立ち上がり。

羽音 石塚さん。ほら、座って。  
ざくろ 羽音ちゃんは？  
羽音 私はもう帰るから。  
ざくろ 帰っちゃうの？  
羽音 あとよろしくね。

羽音

じゃ、隼人。またグラウンドで。

羽音、出ていく。

ざくろ

まだ、部活あるの？

隼人

引退紅白戦な。

ざくろ

そうなんだ。

隼人

すげーゆっくりでき。

ざくろ

？

隼人

あ、ぶつかってなつて、どんつてぶつかって、痛くて、動けなくて、声も出ねえの。で、ああ、死ぬのかもしれないって思つて、ああ、大会終わった後でよかつたなーとか、あれ、そういえば俺まだお前に告白されてねーな？これ、もし俺死んだら、言えなくて後悔すんのかな、とか思つて。

ざくろ

そんなこと、考えてたの。

隼人

翼は。

ざくろ

うん。

隼人

翼は何考えてたんだろうな。冷たくなりながら何考えてたんだろうな。そうだね。

ざくろ

ゲームでき。

隼人

ゲーム？

ざくろ

全滅するとき、最後にセーブしたところに戻るじゃん。だから全滅しそうになるとき、あーどこまで戻るんだっけーとか、あそこでセーブしておけばよかったーとか、そういうこと考えるんだよね。

隼人

ああ。

ざくろ

でもそんなこと、考えられないんだよね。当たり前だけども。

隼人

ああ。

ざくろ

だから、言いたいことは、言える時に言わなくちゃいけないんだよね。

その様子を袖からのぞいているスイとゆかり  
真凜ストップウォッチを持ってがくる。

真凜

どう？

ゆかり

いい感じ。

スイ

これはもう好きっていう流れでしょ。

真凜

そうかそうか。

ざくろ

あのさ、

3人

キター！

隼人 おう。  
ざくろ なんか、これこそ、今言うかって感じかもしれないけど……。  
3人 おおとおおお！  
隼人 おう。  
スイ 言う？もう言うでしょ。  
真凜 好きって言ったら緞帳ダウンね。  
ゆかり ついにここまで来たね。  
スイ あーこれで残るはあととは私と真凜だけだね。  
ゆかり でもあれだよ。真凜は俊平にOKしちゃえばすぐ付き合えるよ。  
スイ えーダメ！  
真凜 俊平はいいや。  
ゆかり マリリンも早く恋に目覚めるといいね。  
真凜 てゆーかあいつらいつまで黙ってんの？  
スイ 確かに。  
ゆかり 早く好きっていいなよー。  
スイ 待って。時間は？  
真凜 あやばい。  
スイ えやばい？  
真凜 緞帳スタンバイ！  
スイ あと何秒？  
ゆかり えー時間〜！  
真凜 あーもう！いいから言えよ〜！  
ゆかり 早く〜！  
スイ 言え！言え！  
真凜 あーダメ！下ろして！緞帳ダウン！  
ゆかり あ〜もーう！！  
スイ 言えよー！！！！  
3人 好きって言えよ〜！！！！！！！！！！

緞帳が降りていく。